

2007年5月31日

大分市長 釘 宮 馨 殿

日本共産党大分市議団

団長 大 久 保 八 大

## 長寿祝金の支給拡大を求める申し入れ

平成16年6月より、ワンコインバス制度が始まり、高齢者の通院・買い物の足として、高齢者・家族にはたいへん喜ばれていました。

しかし平成17年5月から、合併にともなう料金改定、18年4月よりバスカードの本格導入により、乗り降りの手続きが煩雑になり、利用を手控える方もいると聞き及んでいます。

一方平成16年4月より、70歳以上のすべての高齢者に支給されていた敬老年金支給が、75歳、80歳、90歳の節目支給にかわりました。

ワンコインバス申請者数は平成19年3月末、44,667人と70歳以上対象者の70%～73%で推移しています。その内実際に用されている人は50%余りと推測されます。

寝たきりになった人や家族、バス路線の廃止で利用できなくなった方などから、「ワンコインバスを利用できない人には、長寿祝金でなんらかの生活支援をしてほしい」と願う声が寄せられています。

つきましては、下記事項について、善処されますよう申し入れいたします。

### 記

- 1 ワンコインバスが利用したくても、なんらかの理由で利用できない70歳以上の高齢者の方々に対しては、節目支給だけでなく、生活支援の一助として、長寿祝金を支給できるよう制度を改善していただくこと

以上